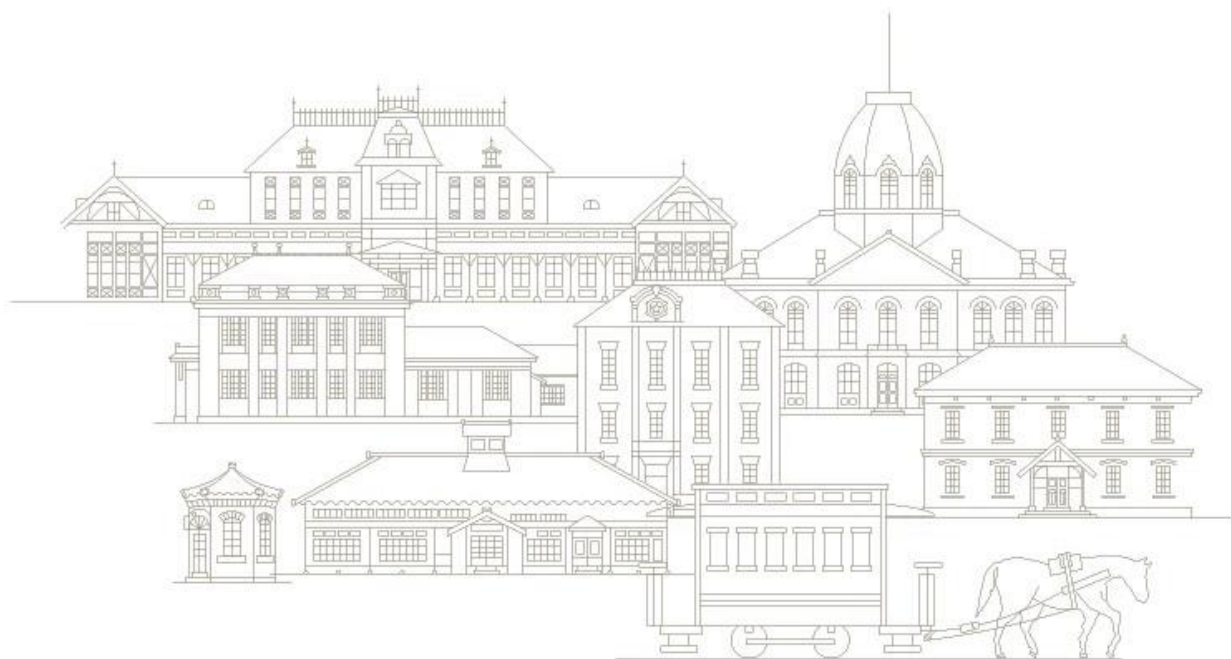


野外博物館

北海道開拓の村

学校利用ガイド



もくじ

- 1 もくじ …… 1

- 2 来館・見学までの流れ …… 2
(下見・予約・体験メニューなど)

- 3 利用メニュー【体験プログラム】 …… 3

- 4 当日お越しになりましたら …… 1 1
(受付・開拓の村からのお願い・具合が悪くなったり怪我をした場合・北海道博物館と併せて見学する場合)

- 5 北海道開拓の村 営業案内 …… 1 3
(料金・開館時間・休館日・お問い合わせ)

来館・見学までの流れ

遠足、現地学習や社会見学、修学旅行などで、北海道開拓の村を利用する場合は、事前にご予約ください。

【ご予約方法：お電話で承ります(書類等の提出は不要です) 北海道開拓の村Tel011-898-2692】

■ 下見について

先生・教諭の下見の希望がありましたら、お電話にて次の事項をお伝えください。

入場料は免除（無料）となります。

- ①学校名 ②当日下見に来られる方の名前 ③連絡先

■ 開拓の村施設 見学のみ

A 北海道開拓の村の見学が決まりましたら、お電話にて次の事項をお伝えください。

- ①見学日 ②時間帯 ③園・学校名 ④園児・児童生徒数 ⑤引率教諭数 ⑥連絡先と担当者
⑦村内で昼食をとるかどうか

B 開拓の村で食事をとる場合

- ①お弁当持参⇒ 村内の芝生で自由にお使いください。

(場所の予約、建造物内での飲食はできません ゴミの持ち帰りにご協力お願いします)

※雨の場合は、屋内休憩施設をご利用いただけますが、他の予約状況もありますので、
当日、時間帯を調整し、園・学校様にお伝えします。

- ②開拓の村食堂をご利用する場合⇒ 200席の食堂があります。他の一般団体の予約もありますので、
必ず事前に【開拓の村食堂 Tel011-897-2321】にご予約下さい。
価格やメニューなどの相談に応じます。またお弁当の手配も承ります。

■ 開拓の村施設見学 + 体験プログラム、出前授業等をご希望の場合

A 体験プログラムを、見学のご予約と併せて希望する場合は、3ページ以降に記載しているプログラムをお選びの上、お問い合わせください（他の利用・対応等がある場合はお断りする場合があります。

※見学日の決定の前に、事前にご相談・調整いただくと、対応は確実です。

B 出前授業を、見学のご予約と併せて希望する場合は、教材の準備、スタッフの調整などが必要ですので、1か月前までにご相談・ご予約下さい。

■ お電話での受付時間

9：00～17：00

■ 開拓の村の休館日

10月～4月の月曜日（祝日・休日の場合は翌日）、年末年始が休みとなります。

■ 下見、見学、体験プログラム等の連絡先

野外博物館北海道開拓の村 Tel011-898-2692

利用メニュー【体験プログラム】

予約不要プログラム

【対象：全年代・学校】

A 開拓の村の施設見学

北海道は長い間、先住民族であるアイヌ民族の生活の場でしたが、室町時代頃から和人が移り住むようになり、以後、豊富な水産資源と広大な土地を目当てに多くの人に移り住みました。明治2年からは、国が開拓使を設置して本格的な未開地の開拓を始めましたが、厳しい自然環境の中での開拓は決してやさしいものではありませんでした。人々は知恵と力を出しあい、また、欧米を中心とした諸外国から新しい技術を導入して北海道の開拓にあたってきたのです。明治期の北海道における建築は、日本において古くから受け継がれてきた伝統的な木造建築技術に欧米の技術が取り入れられたことが一つの特徴で、北海道の各地の気候や風土に適応するための工夫が重ねられました。

北海道開拓の村は主に明治（1868～1912）・大正（1912～1926）期の建造物を道内各地から集め、復元・再現した野外博物館です。村内では、開拓者たちが郷里の建築にならって建てた家々も多くあります。これらの建物は、様々な地域から北海道へと移り住んだ開拓の歴史を物語っているといえるでしょう。村内は市街地群、漁村群、農村群、山村群で構成され、それぞれの建物ごとに資料を展示して、開拓時代の先人たちの意欲あふれる生産や生活の様子を目の当たりにすることができます。

[所要時間：約60分～90分程度]

[対応人数：不特定多数]

[プログラム例：課題別見学モデルコース]

北海道開拓の村は、見方によって全く違う楽しみ方ができます。ここにいくつかのコースをご紹介しますが、見学・プログラム作成に際して、質問やご相談がありましたら、お気軽にご連絡ください。

- ①西洋技術コース・・・窓や屋根・壁のつくりや、柱の構造に注目してヨーロッパやアメリカの技術を見つけましょう。また、和風部分を見つけ出して、どのような生活をしていたか想像し、昔からの家の形を大切にしたい理由を考えてみましょう。
- ②ふるさと調べコース・・・日本各地からの移住によって北海道は今の姿になってきたのです。移り住んだ背景や、ふるさとの伝統的な家と同じような方法で建てられた建物に注目して見学しましょう。
- ③仕事コース・・・仕事に合わせた建物のつくり注目してみましょう。なかには今ではほとんど見ることができない仕事や機械があります。なぜ、昔からの仕事がなくなってきたのかを調べてみましょう。
- ④環境コース・・・生活や仕事と関係のある建物を見ながら、開拓と環境の関係を考えてみましょう。便利な生活と自然破壊の関係は、今でも大きな問題になっています。北海道での生活や仕事と、なぜ人々は木を切らなければならなかったのかなどを考えながら見学しましょう。
- ⑤民家コース・・・みなさんの家とくらべながら、当時の生活を想像して見たり、建っていた場所や仕事にも注目してみましょう。家の中にある道具の使い方を調べてみると、形は違うけど同じ目的に使う道具が、みなさんの回りにたくさんあるはずです。

要予約プログラム

【対象：幼稚園・保育園】

B 手フット印刷機で印刷した記念はがきのプレゼント

事前にご予約いただいた幼稚園・保育園のご見学時に、小樽新聞社で印刷した来村日を入れた記念はがきを園児の皆様にお渡しします。

[対応人数：全園児（入場者全員）]

[申込：見学の2週間前まで]

※施設見学ご予約時に希望の有無をお知らせください。

※幼稚園・保育園の遠足などご利用いただく場合に限りです。

【対象：幼稚園・保育園、小学校、中学校、高校】

C オリエンテーション

学習課題に合わせ概略説明を行い見学のポイントを明確にし、学習効果を高めます。

なお、対応は入場後すぐとなり、屋外となります。（雨天時のぞく）

[所要時間：約10分程度]

[対応人数：全校（入場者全員）]

[申込：見学の2週間前まで]

D 制作体験 伝統玩具

昔から今に伝わる伝統玩具づくりを体験し、先人たちの生活を学びます。（制作には、小刀・はさみなどの刃物を使用します）

[所要時間：約60分程度]

[対応人数：1回最大30名程度] ※大人数の場合はローテーション（入れ替え）により対応します

[申込：見学の2週間前まで]

[プログラム]

- ①ぶんぶんゴマ
- ②竹とんぼ（紙とんぼ）
- ③木のコマ
- ④がりがりトンボ
- ⑤水鉄砲 など

※季節・材料の手配上、対応できないプログラムがあります。

幼稚園・保育園の場合、年齢により対応できない場合があります。

【対象：小学校】

E 暮らし体験

小学校3・4年生の社会科の単元「古い道具と昔の暮らし」の学習のお手伝いをするを大きな目的とし、ここ100年余りの間に持ちいれた、様々な生活道具の移り変わりを紹介するとともに古い道具に触ったり、使ったりする体験ができるようにしており、その体験を通して先人たちの知恵と工夫を学びます。

[所要時間：約40分程度]

[対応人数：クラス単位（5～40名）]

※大人数の場合はローテーション(入れ替え)により対応します

[申込：見学の2週間前まで]

[プログラム]

- ①唐箕（とうみ）：日本各地で広く使用された農具【唐箕（とうみ）】を使用した体験。
- ②はかり：昔の重さを計る道具【天秤はかり】を使用した体験。
- ③石臼：きな粉やそば粉をつくる道具【石臼】を仕組みを学びながら使用した体験。
- ④洗濯板・たらい：教育出版「社会」3・4年生用教科書「みんなでさがそう昔の暮らし」で教材として設定されている「洗濯」について、実物に触れることで工夫や情報を読み取る体験。
- ⑤深くつ・雪下駄：光村図書5年生用教科書「わらぐつの中の神様」にでてくる2点の実物に触れる体験。
- ⑥つば釜：教育出版「社会」3・4年生用教科書「みんなでさがそう昔の暮らし」で教材として設定されている「ごはん」について、実物に触れることで工夫や情報を読み取る体験。

F 昭和の部屋の暮らし体験

旧札幌停車場内に、ちゃぶ台、火鉢、ラジオなど昭和時代の暮らしを再現した部屋を用意しています。

北海道開拓の村の見学と併せて利用すると、開拓期・昭和期・今の時代と3つの時代の暮らしを比較することができます。

[所要時間：約10～40分程度]

[対応人数：グループ単位（5～10名）]

※大人数の場合はローテーション(入れ替え)により対応します

[申込：見学の2週間前まで]

【対象：小学校・中学校・高校・大学】

G 講義

学校との打ち合わせをもとに、北海道開拓をテーマにした学芸員による講義を行います。希望テーマにより、講義内容が専門的になりますので、事前学習の実施をお勧めする場合があります。

対応場所は、人数により旧札幌停車場第2ホールまたはビジターセンター講堂となります。

[所要時間：約30分～2時間程度]

[対応人数：200名程度]

※大人数の場合はローテーション(入れ替え)により対応します

[申込：見学の2週間前まで]

H 質問対応

学芸員が児童生徒の質問にお答えします。入場時の質問は、より正確な回答のため、事前に学習内容や質問事項をお教えください。

対応は、入場前後どちらでもできます。

[所要時間：約10～30分程度]

[対応人数：全校（入場者全員）]

[申込：見学の2週間前まで]

I 制作体験 わら細工

日本各地で伝承されているわら細工の一端【稲わらから縄をなつてわら縄を制作します】を体験し、先人たちの知恵と工夫、生活を学びます。

[所要時間：約60分程度]

[対応人数：1回最大30名程度]

※大人数の場合はローテーション(入れ替え)により対応します

[申込：見学の2週間前まで]

J 昔の授業体験（北鳴教室）

昔の学校（明治期建築 旧北海中学校）の教室で、昔の教科書「北海道用尋常小学読本 巻六」（明治 34 年発行・複製）を使用した、昔の授業体験です。課題に応じて明治時代に学んでいたことや、人々の考え方、生活の様子などに触れます。

各学校の地域や児童生徒の興味関心に応じて、課題を選択し、当時の学習に触れてその違いや共通点に注目し、施設見学への動機づけとします。

[所要時間：約 45～60 分程度]

[対応人数：小学 4 年生以上より クラス単位または一学年単位]

※ 28 名までであれば、旧北海中学校内の教室で実施できます

[申込：見学の 2 週間前まで]

[プログラム（課題）]

- ① 北海道・・・北海道の概略を紹介
- ② 移住者ノ話・・・老人の移住にまつわる経験談
- ③ もんべつ村・・・現在の伊達市に移住した伊達邦成主従の話
- ④ 樹木の効用・・・樹木と生活との関係及び環境教育
- ⑤ 重なる金属・・・身近な金属と加工の紹介
- ⑥ 牧畜・・・牧畜を挿絵を用いて概説
- ⑦ パンノ製造法・・・新しい食文化パンの製造法
- ⑧ 鮭・・・北海道の名産「鮭」について
- ⑨ 冬の日・・・造材や氷業など冬の産業の紹介
- ⑩ 石炭・・・石炭の産地と用途の紹介

K 出前歴史学習

北海道開拓の村を利用する事前学習、またはふりかえり学習の位置づけで、学校との打ち合わせをもとに、北海道開拓をテーマにした学芸員による講義を行います。希望テーマにより、制作活動や実物資料使用の体験などの総合的な対応も可能です。なお、出張に伴う経費は無料です（札幌市内及び周辺市町村）。

[所要時間：約 40 分程度]

[対応人数：クラス単位または一学年単位]

[申込：希望日の 2 週間前まで]

[プログラム]

- ① 開拓期の歴史・生活の話・・・希望テーマに沿ったお話をを行い、見学時の学習のサポートを行います。
- ② 制作活動・・・わら縄づくりを行います。
- ③ 道具体験・・・はかり、石臼、洗濯板等を使用した昔の道具体験。

※ 事情により、北海道開拓の村を見学しない場合でも対応は可能です。

【対象：中学校・高校・大学】

L 村内ガイドツアー

地域住民であり、当時を知る語り部として活動している、開拓の村ボランティアによるガイドツアーです。

建造物の解説や北海道の歴史・生活文化などについて解説しながら、学習内容のご希望（コース・時間）に合わせて村内をガイドします。

[所要時間：往路 約40～90分程度 + 復路30分以上（自主研修）]

※時間についてはご要望に応じます

[対応人数：10名程度以上～ ※生徒10～20名単位にガイド1名がつきます]

[申込：見学の2週間前まで]

M 職場訪問

職場訪問は、4時間程度で、北海道開拓の村の施設見学と活動概要の説明を行います。

[所要時間：1日(4～5時間程度 昼休み含む)]

[申込：希望日の3ヶ月前から受付します]

<スケジュール例 4時間30分の場合>

10:00	10:15	12:15	13:15	14:15	14:30
オリエンテーション	施設見学	休憩	活動概要説明	ふりかえり	

N 職場体験（インターンシップ）

職場体験（インターンシップ）は、4時間から2日間以内で（計8時間程度）、博物館の色々な業務の補助を体験します。

[所要時間：1～2日間（4～8時間程度 昼休み含む）]

[申し込みは、希望日の3ヶ月前から受付します]

[プログラム]

①博物館コース

1-1) 行催事運営

北海道開拓の村では年中行事や伝統文化など、開拓期の人々の生活や文化を伝える様々な体験事業などを行っており、その事業の準備や運営などの補助を通して、イベント運営の心がけや来場者サービス、さらには北海道の生活文化を学ぶことができます。

<一日の場合のスケジュール例 実務5時間の場合>

9:30	10:00	12:00	13:00	15:00	15:30
オリエンテーション	行催事運営	休憩	行催事運営	ふりかえり	

1 - 2) 博物館学芸員

北海道開拓の村の建造物内の資料の取り扱いを学びながら、建造物や展示資料のクリーニングなどの作業や当時の道具を使用した落雁づくりなどを行うことで、博物館学芸員の仕事の一端を体験してもらいます。

<一日の場合のスケジュール例 実務 5 時間の場合>

9:30	10:00	12:00	13:00	15:00	15:30
オリエンテーション	建造物や展示資料の管理保存についてレクチャー	休憩	クリーニング等のミニ体験	ふりかえり	

②施設運営管理コース

2 - 1) 受付案内・馬車鉄道・遊具づくり 補助

スタッフと共に来館者の受付案内、馬車鉄道の車掌業務、遊具づくり指導の補助をしてもらい、博物館とお客様の懸け橋となるようおもてなしを第一に心がけ、主にサービス関係の業種を体験してもらいます。

<一日の場合のスケジュール例 実務 5 時間の場合>

9:30	10:00	11:00	12:00	13:00	15:00	15:30
オリエンテーション	施設見学	サービス業務補助	休憩	サービス業務補助	ふりかえり	

2 - 2) 施設管理（清掃・監視・修繕）、点検 補助

建造物の目視や修繕、誘導案内サインの塗布、また施設内の清掃等の業務を行い、お客様に気持ちのよい環境で見学いただけるよう、裏方とも思われがちですが、一番神経と心配りが必要な業種を体験してもらいます。

<一日の場合のスケジュール例 実務 5 時間の場合>

9:30	10:00	11:00	12:00	13:00	15:00	15:30
オリエンテーション	施設見学	管理業務補助	休憩	管理業務補助	ふりかえり	

【対象：大学】

○ 博物館実習

学芸員資格の取得を目指す大学生のための実習を行っています。様々な博物館活動を実際に経験し、学芸員としての知識・心構えを身につける契機となることを目指しています。

なお、実施時期は8月頃に実施する予定です。

[所要時間：10日間程度(1日8時間程度 昼休み含む)]

[申込：春先より開始し、受付します]

[プログラム例]

日数	テーマ・内容
1日目	ガイダンス、開拓の村の業務について、村内見学
2日目	施設・展示の管理、営業・広報活動
3日目	教育普及事業、調査研究活動
4日目	博物館ボランティア
5日目	事業補助、課題実習1
6日目	資料の扱い方、収集資料の登録作業
7日目	資料のクリーニング作業
8日目	事業補助
9日目	事業補助、課題準備
10日目	課題実習2

☆開拓の村の学習素材等について

・学習に使用できる課題案や素材については、北海道開拓の村ホームページ「学習サポート北鳴教室サイト」<http://www.kaitaku.or.jp/edu/gakusyu.htm> に掲載していますので、ご活用ください。

・学習用資料の貸出

くらし体験でご案内している『はかり』、『石臼』、『洗濯板』、『深くつ・雪下駄』、『つば釜』、『蚕・シルク』などの昔の道具などを無料で貸出しています。

また必要に応じて、道具貸出しの他に、学芸員等による出前授業の対応も可能です。学校の授業等で必要な場合、まずはお電話にてご連絡ください。

※上記のプログラム以外の対応などがありましたらお気軽にご連絡ください。

当日お越しになりましたら・・・

■ 受付

- ① 学校名、人数をお伝えください。開拓の村リーフレットを人数分お渡しします。
また、【見学に際してのお願い】をお渡ししますので、生徒皆様に周知のほどお願いします。
- ② 見学のみの場合は、受付後、ご入場ください。
- ③ 村内で昼食をとられる場合
 - 1) お弁当持参
芝生の上をご自由にお使いください（荷物の預かりは対応していませんので、学校で管理してください）
※雨天等の場合：他の学校様と共有して屋内休憩施設を使用してもらいます。
当日、受付（入場券売場）で時間帯・使用場所をお伝えします。
※ごみのお持ち帰りにご協力をお願いします
 - 2) 開拓の村食堂をご予約されている場合
ご予約時間になりましたら、開拓の村食堂へ移動してください。
※集合時間等、必要に応じて村内放送の対応は可能です。受付（入場券売場）に申し出てください。
- ④ 体験プログラムをご予約の方
入場受付時に、対応時間・場所をお伝えしますので、時間になりましたら実施場所にお越しください。

■ 北海道開拓の村をご利用にあたって（お願い）

開拓の村の建造物は、北海道にとって、とても大切な財産です、見学をされます皆様のご協力により、後世の人々に長く伝えたいと思いますので、ご協力をお願いします。

- ・馬車鉄道の馬に触ったり、一緒に走らないでください。また餌を与えないでください。
- ・線路に石を置かないでください。また線路内を歩かないでください。
- ・入退村は全員そろって行き、旧札幌停車場へは途中で出入りしないでください。（止むを得ない場合は除く）
お手洗いや、水飲み場は村内数か所にあります。
- ・建造物内外の資料や、展示物には手を触れないでください。
- ・建造物内では飲食をしないでください（札幌停車場、ビジターセンター除く）
- ・立ち入り禁止の場所、また海、池には入らないでください。
- ・体験学習棟、子どもの広場の遊具は、使った後は必ず元の場所に片づけてください。
- ・村内での、ボール・フリスビー・ローラーブレード等の遊びは禁止されています。
- ・虫や花など動植物の採取はできません。
- ・ゴミはくずかごに入れるか持ち帰ってください。
- ・記録・広報用等の為、個人が特定されない範囲で撮影し使用する場合がありますので予めご了承ください。

■見学中、具合が悪くなったり、怪我をした場合

旧札幌停車場（出入口）の入場券売場までお伝えいただくか、馬車鉄道係員、体験学習棟のスタッフに声をかけてください。

また緊急を要する場合は電話にて北海道開拓の村事務所（TEL011-898-2692）までご連絡ください。

- ・A E D：旧札幌停車場、体験学習棟に、1基ずつ設置しています。
- ・救急セット：旧札幌停車場、体験学習棟にご用意しています。
- ・救護室：具合が悪くなった生徒さんを休ませる場合、入場券売場職員に声をかけてください。

旧札幌停車場内にある救護室をご案内します。

・最寄りの救急病院

総合病院・・・JCHO札幌北辰病院（TEL011-893-3000 厚別区厚別中央2条6丁目2-1）

脳神経外科・・・新さっぽろ脳神経外科病院（TEL011-891-2500 厚別区上野幌1条2丁目1-10）

整形外科・・・羊ヶ丘病院（TEL011-351-2211 厚別区青葉町3丁目1-10）

循環器専門・・・新札幌循環器病院（TEL011-892-1556 厚別区厚別中央2条4丁目9-25）

- ・救急車の手配：スズメバチに刺されたり、緊急を要する容体の場合は、救急車を手配します。

※北海道開拓の村の全スタッフは、救命講習を受講しています

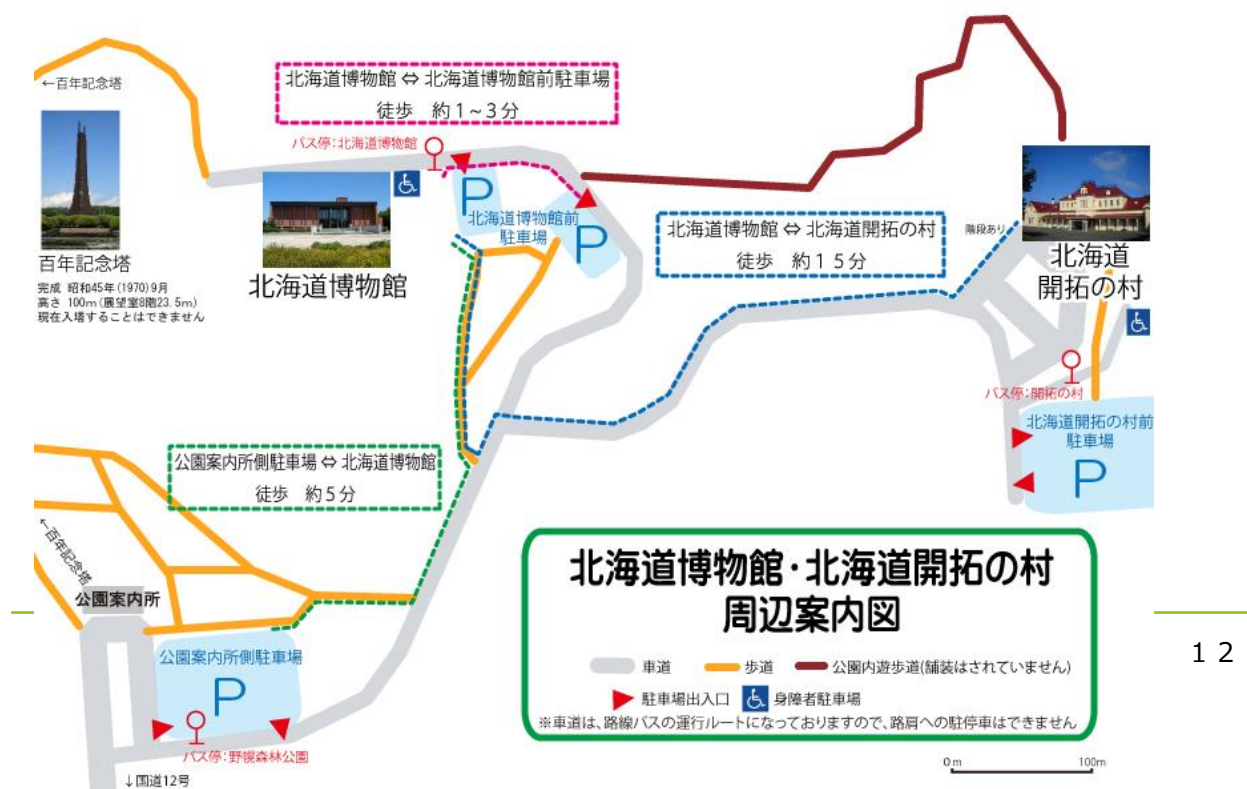
■北海道博物館と併せて見学する場合

北海道開拓の村に隣接（徒歩約15分 車移動約3分）する北海道博物館もご見学する場合は、別途北海道博物館に予約（見学届）が必要となります。

北海道博物館の利用については【北海道博物館学校利用ガイド】をご覧ください。

※北海道博物館学校利用ガイドは、北海道博物館ウェブサイト

[<http://www.hm.pref.hokkaido.lg.jp>]で公開しています。



北海道開拓の村 営業案内【料金等】

■ 料金について

- 【幼稚園・保育園】 園児、引率の先生 全員無料です
- 【 小 学 校 】 生徒、引率の先生 全員無料です
- 【 中 学 校 】 生徒、引率の先生 全員無料です
- 【 高 校 】 生徒 10名以上の場合無料、引率の先生は生徒 10名につき 1名無料
(生徒 10名未満の場合は有料となります)
- 【養護学校、聾・盲学校】 免除となりますが申請書の提出が必要です (F A Xで申請書をお送りします)

■ 大型バス駐車場について

- ・北海道開拓の村には大型バスの駐車場があります。
- ・料金は無料となっており、予約は不要です。

■ 開館時間・休館日 (入場は閉館 30 分前まで)

5月～9月 9:00～17:00

無休

10月～4月 9:00～16:30

毎週月曜日(祝日・振替休日の場合翌日)、年末年始(12/29～1/3)

※さっぽろ雪まつり期間中の月曜日は開館

■ お問合わせ・ご予約・ご連絡先

野外博物館北海道開拓の村

〒004-0006 札幌市厚別区厚別町小野幌 50-1

TEL 011-898-2692

FAX 011-898-2694

URL <http://www.kaitaku.or.jp>

※お電話の際は開館日の9:00～17:00にお願いします

野外博物館北海道開拓の村 学校利用ガイド

発行

指定管理者：一般財団法人北海道歴史文化財団

〒004-0006 札幌市厚別区厚別町小野幌 50-1 (北海道開拓の村内)

TEL011-898-2692

(2017.1.8 第1版)